

光岡自動車

『Viewt』(ビュート)愛され続けて発売から30年 ～後継モデル年内発売へ～

この度、株式会社光岡自動車(代表取締役社長:光岡章夫 本社:富山県富山市)は、コンパクトセダン『Viewt』(ビュート)が2023年(令和5年)1月20日(金)で、発売から30周年を迎えますことお知らせいたします。

『Viewt』(ビュート)はコンパクトな英国車風のデザインで人気を博し、1993年(平成5年)1月20日の発売以来、累計13,000台をお客様のもとへお届けしてまいりました。ベース車両には日産自動車の「マーチ」を使用し、ベース車両のモデルチェンジが実施されるたびに改良を重ね、現行モデルは3代目『Viewt』(ビュート)となります。初代より基本的なデザインは変更せず、クラフトマンシップの精神に基づいた手作りによるクルマとしては、お求めやすい価格でのコンパクトセダンというコンセプトを貫いて30年。これまでの多くの皆様のご支援にあらためて感謝申し上げます。



私たちがオリジナルデザインの車を創り出すきっかけとなったのは、創業者の光岡進(現:代表取締役会長)が、1980年代にアメリカで目にしたDIY精神あふれる、自由で、乗る人々を飽きさせないワクワクするクルマ達でした。それらは、それまでの事業の柱としていた原付免許で手軽に乗れるゼロハンカーシリーズから、乗用車開発にシフトした大きな原動力となりました。アメリカのおおらかなレプリカ文化に共感し、1987年から送り出した『BUBU Classic SSK』(ブブ クラシック エスエスケー)、『BUBU 356 Speedstar』(ブブ 356 スピードスター)の開発を通してその製造技術を培い、そして、バブル崩壊の真ただ中、当時の価格で200万円台を目標に掲げて、日産自動車の「マーチ」をベースとして「ジャガー・マークII」をモチーフに、その愛くるしいデザインと日本での使用環境に合わせたサイズ感で、多くのお客様から支持されるコンパクトな英国車風の『Viewt』(ビュート)の誕生に至りました。

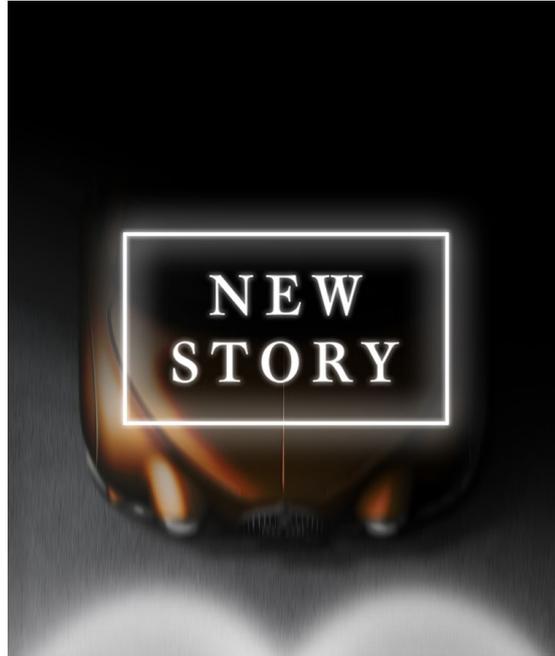
モータリゼーションの先進国である欧米諸国には、量産メーカー車をベースに自由な発想で、より魅力的なデザインに仕上げたり、改造を施したり、独自のクルマづくりを行う製作会社・コーチビルダーが数多く存在します。自動車メーカーになることを目指して『Zero1』(ゼロワン)の開発に取り組む一方で、コーチビルダーの原点ともいえる「遊び心あふれるワクワクするクルマ作り」を貫く精神は、この『Viewt』(ビュート)を筆頭に、昭和・平成・令和の3つの時代に渡り、今もなお受け継がれています。

『Viewt』(ビュート)がこれだけのロングセラーとなりましたのは、クルマの魅力のみならず、誰もが不可能だと思われた田舎の小さな工場の自動車メーカーへの挑戦や、自由な発想でモノ作りを行うスピリッツに共感されました皆様方のご厚情の賜物と、あらためて感謝申し上げます。

『Viewt』(ビュート)は、新車でお届けできる台数も残りわずか、一部販売店が所有する在庫のみとなります。なお、良質な中古ベース車から製造するメイクアップ車については、今後も継続して受付を行う予定です。



また、多くのお問い合わせをいただいております次期モデルの投入については、年内にお披露目できる予定です。どこか懐かしいスタイルを踏襲しつつも、使い勝手もよく、先進の安全装置を装備した安心快適にお乗りいただける令和に相応しい『Viewt』(ビュート)を目指しています。お洒落なクルマを選ぶ楽しさと、これからも愛され続ける『Viewt』(ビュート)の新しい物語にご期待ください。



○ 本件に関するお客様へのお問合せ先は下記をご掲載お願い申し上げます。

- ・ ミツオカコール  0120-65-0022
- ・ 光岡自動車ホームページ <https://www.mitsuoka-motor.com>

○ 車両画像は、下記サイトよりダウンロードして頂きますようお願い申し上げます。

- ・ 画像データ https://www.mitsuoka-motor.com/press_dl/

○ 本件に関する報道関係者のお問合せ先は下記までお願い申し上げます。

- ・ 東京都港区麻布台 2-3-3 (株)光岡自動車 ミツオカ事業部 販売企画課 : 笠原(カサハラ) 03-5114-5505 まで